

神戸・画人 24

藤田 清照



ふじた きよてる
1931/神戸に生まれる、1952/京都美術
専門学校(芸大)洋画科卒、1974~1976
/大阪、東京で個展、1977/第20回安井賞展
出品、1979~1980/第22回、第23回安井賞
展出品、1978~1980/毎年トルコ共和国
イスタンブールタクシムサナトギャラリーにて
個展、1978、1980/金山賞展出品、大阪、
東京にて個展多数開催、無所属

明けても暮れても

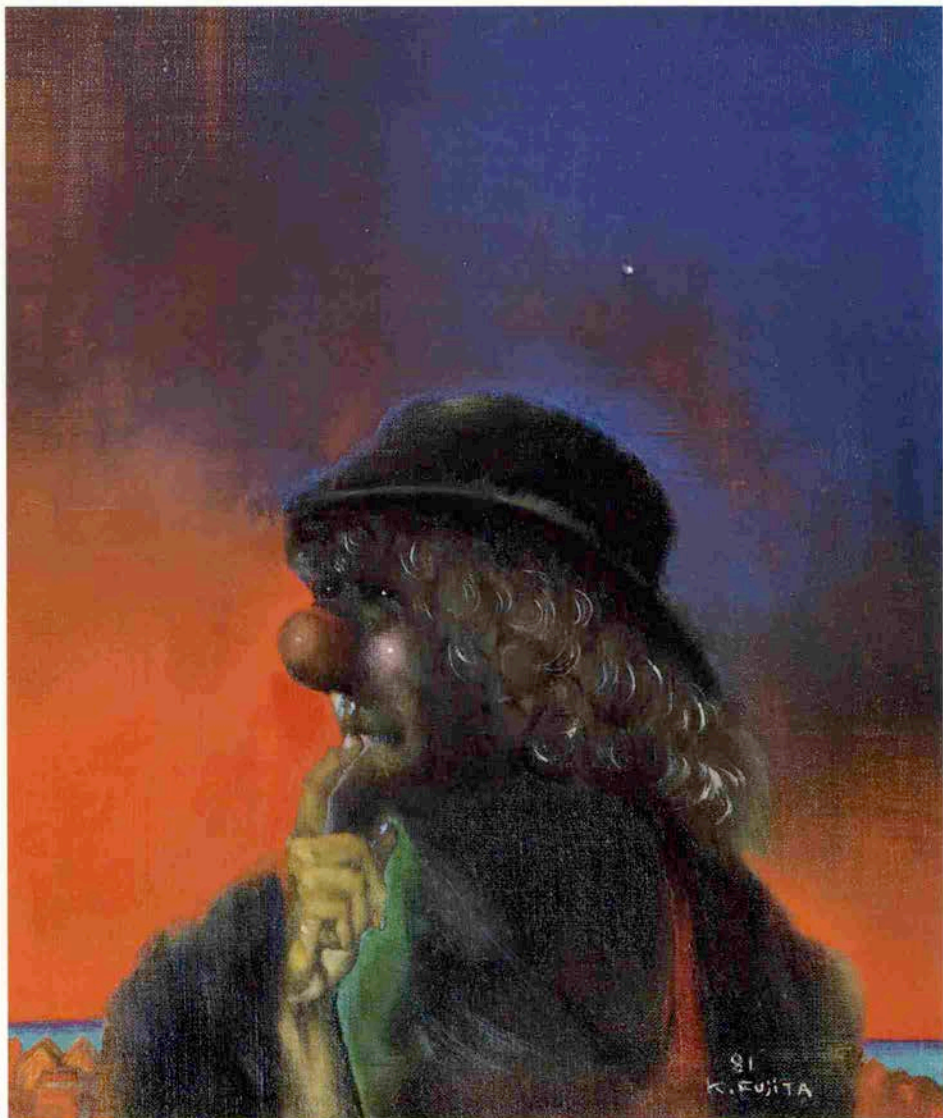
明けても暮れてもイスタンブールでは、大人気もなく、人に笑われるかも知れないが、ここ七、八年はイスタンブールと神戸の往復が続いています。トルコはアラブではありませんが、アラブの諺にある

“犬が吠えても、キャラバンは行く”
の類です。

春よし、夏よし、秋もよし、そして冬に至つてはその詩情いや増す思いがします。雨に泣き、風に唄えばもういうことはありません。その割に私の絵にはイスタンブールが特に出ている訳ではありません。吹き溜まりに追い込まれた老人や旅人の姿ばかりです。

今のところ、何が起こっても不思議ではないのが西アジアの地方です。しかしこんな所が、むしろ私には“生きる”厳肅さと物描きの心を教えてくれるようです。12月14日から31日までのイスタンブールの個展が終り次第、ヨルダンのアンマンへ来年の個展開催の打合せに行く予定です。再びアラブの諺から、

“足をすべらすことは、舌をすべらすよりも安全です”

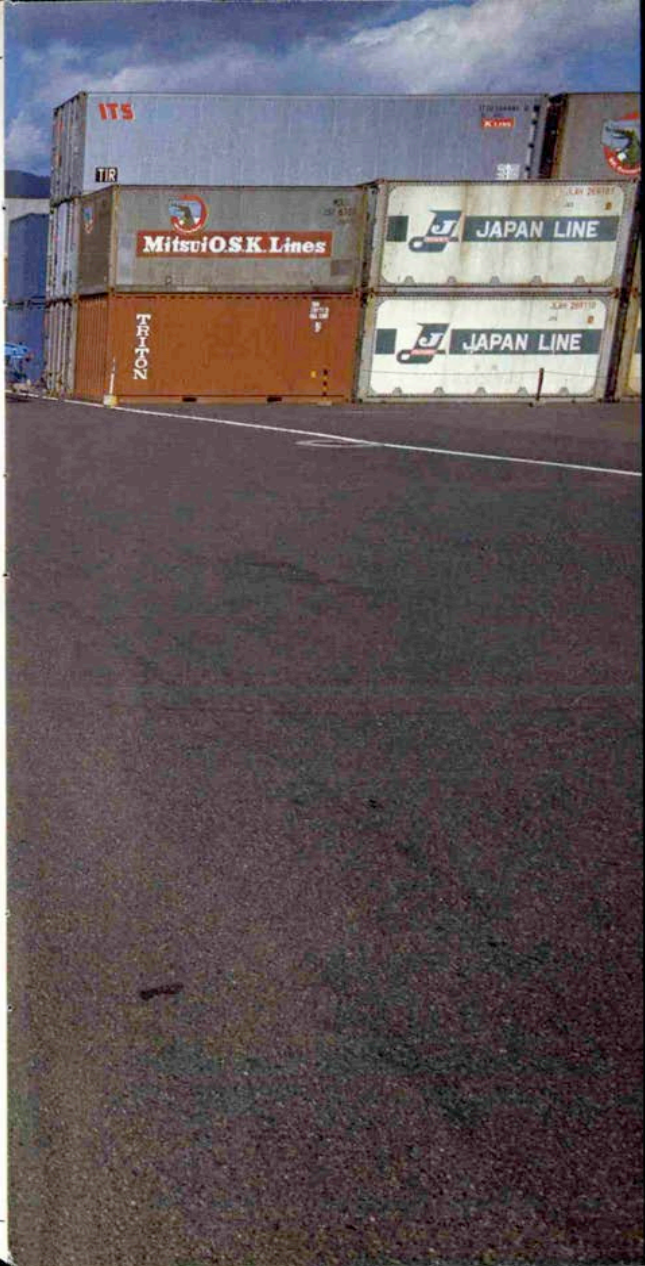


黒い帽子のピエロ
F8号

神戸の風色

KOBE ● FUSHOKU

堀内 初太郎 NO・24





忘
食

了
過



Elegant Christmas



自由に個性的に生きる女性たちに
ひととき美しい輝きをそえる毛皮。
それは、今日のライフスタイルに
本物だけがもつ魅力と
しなやかな感性を加えて
灰色の季節の街を鮮やかに彩ります。



真珠・貴金属・毛皮・輸入婦人服

ムラタ

さんちかレディースタウン

神戸市中央区三宮町1丁目10番1号

☎(078)391-3886

本社

神戸市中央区元町通6丁目7番8号 明邦ビル

☎(078)341-8041代



Brilliant Night

パーティや会合の多い季節です。
自分らしさを大切に、個性が光る
ファッションの演出を——。



クチュール&ブティック

ウインザー

山田 昌子

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目
さんプラザ2F TEL (078) 331-7952



左のメモリアル・モニュメントの写真は、「真珠の街 神戸」をイメージ化したパールシティ・コウベのシンボルマークを、リデザインして木下真珠が製作したものです。ポर्टピア'81にも、パールシティ・コウベのPRとしてファッションライブシアターに出演しました。



12/8 OPEN

異人館の街に、真珠の輝きひとつぶ。

純粋で偽りのない輝き。

それは永遠の真実を見守るかのような光。

真珠はあなたを神秘的なパールで包み込み、思われ魅力を醸し出す。

ひとつぶの真珠が、あなたを……変えるかも知れない。



●Order Salon

最高級の品質とデザインにより、あなたの個性をさらに磨きあげたいと願っています。

●Reform

一連のネックレスを二連にしたりブレスレットにしたりして、あなたのお手持ちの真珠にもう一度輝きを与えてみませんか。

●Show Corner

外国から直輸入の新作デザイン展、ジュエリーデザイナーによる個展なども催します。どうぞ新しい感覚を目でとらえてください。

KINOSHITA PEARL

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野駅)

本 社 TEL(078) 221-0487・7870

オーダーサロン TEL(078) 221-3170





良いものの 出逢い

少公女の気分で——

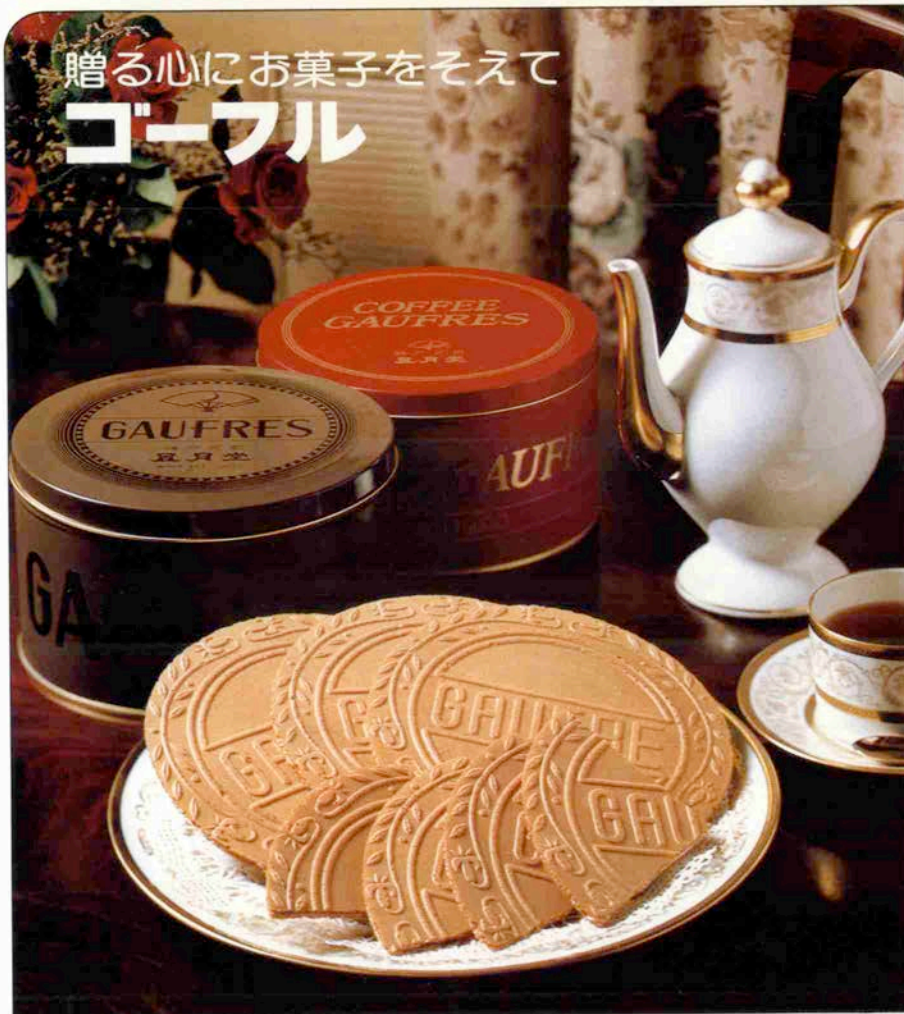
年が明けるとご主人の赴任地
アメリカへ渡る池田朱美さん
に着ていただいたのは、ベッ
チンのくるみ鉛とトリミング
がフォーマルな一重仕立ての
オーバーコートです。

(フランス製 ¥195,000)

 *ladies*
watanabe

中央区三宮町1丁目(センター番・ニューセンタービル1F)
TEL078-331-1650 10:30AM~7:00PM

贈る心にお菓子をそえて
ゴーフル



お歳暮に
ゴーフルセット



シクラメン ¥2,000
ゴーフル
バビヨットデュオレ



ガーペラ ¥3,500
ゴーフル
デセールシヨアジ
バビヨットデュオレ



キク B ¥5,000
ゴーフル
マロングラッセ



神戸 風月堂

ゴーフル
本社・神戸市中央区元町通3丁目3-10 ☎ (078) 321-5555



これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帳です

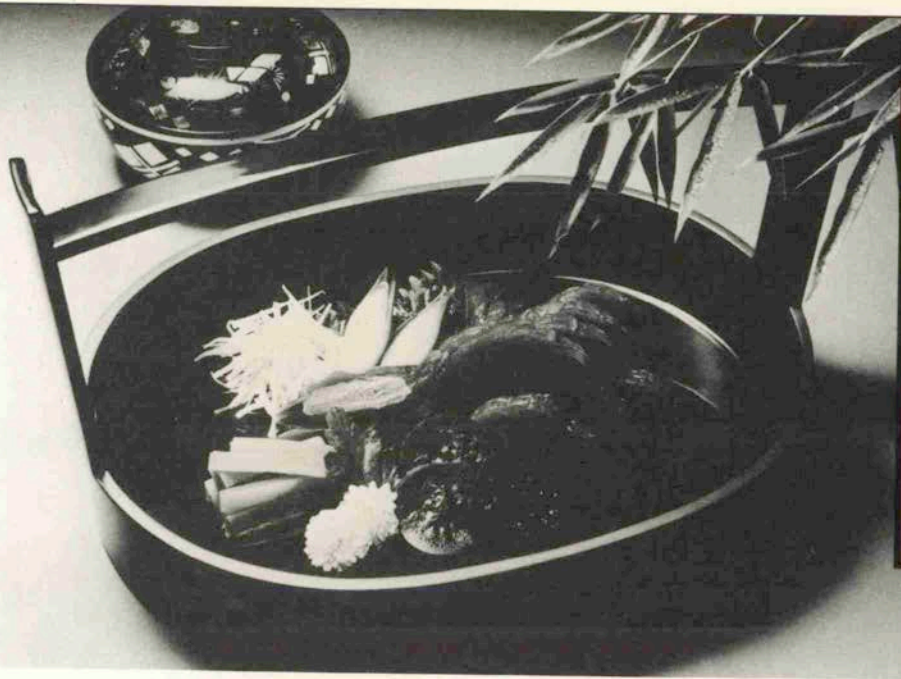
12月号目次 ● 1981・NO.248

表紙／小磯良平
セカンドカバー／僕の見た神戸（36）／西村 功

- 神戸っ子 81 / 加藤嘉代子 / 谷川浩司
ある集い / 神戸女学院高等学部ハンドベル
コウベスナック
神戸・画人（24）／堀内初太郎
神戸の風色（24）／堀内初太郎
わたしの意見 / 津高和一
随想 / 田原新 / 木村憲吾 / 中西勝
ある集い / その足あと / 神戸女学院高等学部ハンドベル / 下田関子
連載エッセイ・私のひるいもの（34）／竹中 郁
連載エッセイ・折々の神戸（8）／多田智満子 / 絵・石阪春生
トラバサケット片手にブラジル人歩き（6）／右近雅夫
地域文化論（その28）／外来語が語る神戸の文化 / 小林信次郎
対談 / 海のシルクロード・陶磁の世界
奈良本辰也 / 三杉隆敏
キャンベリ / ドイツ・ニューヨークそして神戸 / 植松董二
デザイン / の力で文化都市神戸を考える（49）
菅原 亮 / 木村郁也 / 山田芳信 / 席 康夫
松浦信義 / 藤田憲彦 / 安田丑作
座談会 / 神戸に空港を / 積極的に取り組む神戸JJC
座談会 / 西村隆治 / 伊丹威 / 石丸謙太郎 / 小越孝保 / 川口政二
座談会 / 国際都市神戸にはジャズがよく似合う
野口久光 / 末広光夫 / 行田よしお
経済バケットジャーマン
有馬威時記（12月）
話題のひろば 第4回市長杯争奪美術家野球大会
21関口俊吾作品展
22関口俊吾作品展
ファッションレポート / グランパ / 津川雅彦
コウベ・ファッション・スポット
NEUE MODE MÄRCHEN（4）／篠原順子
ATH SUPER CULTURE 81 IN KOBE
創作邦楽と舞踏のタケ
神戸美術散歩・ギャラリーマップ
神戸美術散歩・ギャラリー
動物園飼育日記（10）／亀井一成
ノコちゃん / 華麗なる食べある記（36）／小山乃里子
南蛮亭 / 薩摩道場
神戸の集いから
六甲山一〇〇コース
6甲山の道を行く / 福井敏子
神戸を福祉の町に（96）／橋本 明
兵庫界隈記（11）／新設市兵庫区長
ふたたびプロフェッサーの研究室（12）／岡田 淳
KOBE MODERN CULTURE
ふたたび・ふたたび（14）／淀川長治
哲学散歩（最終回）／差別教育 / 細川 董
KPSニュース
ひつとん
神戸百貨会だより
ボケツトジャーナル
連載小説（最終回） 一男一女あり / 板井利枝 / 絵・辻 司
連載小説（最終回） 福原 / 秋吉 好 / 絵・岡田嘉夫
トラベルコーナー / トリック & トリック
編集後記
北野町ガイドマップ
神戸行きFREE WAY 5 / 大森一樹 / カメラ・山口 宏
海船港 / 厚生省神戸検疫所
カメラ / 米田定蔵・藤原保之・後藤 孝・坂上正治・プレゼンツ・
中村昇治
目次作品 / 小さな棒 / 堀尾貞治

高級奈良漬

甲南漬



甲南漬は酒どころ灘の特産品。香味ゆたかな灘の酒、その酒粕をふんだんに使い、更に自家吟醸の白菱味噌粕で味を整え伝統の技術で長い歲月ゆつくり漬けあげた高級奈良漬です。熟成された風味とコクを心をこめて贈りませんか。「千成甲南漬」や「珍味詰・味ざんまい」など味な詰め合わせも揃っています。



百年の伝統を誇る
高級奈良漬
真心のこもった
お歳暮には
自然の風味と
手づくりの味を
お選び下さい

創業明治3年

甲南漬・味酛白菱本舗

高嶋酒類食品株式会社

本社 神戸市東灘区御影塚町3丁目9番

電話 代表 (078) 841-0551番

本店 神戸市東灘区御影塚町4丁目4番8号

電話 代表 (078) 841-1821番

愛を形にする季節となりました。



FASHION PARK

神戸・三宮(さんプラザ・センタープラザ)

3F

営業時間

AM11:00-PM8:00

リザ・サロン

ルイ・ミッシェル

CABIN

フランス・アンドルヴィ

ジョージ・レッシュ

ダイアナ

Pia

ルベール

ランプ

美呂

CAN

ゲルラン

東京屋

新宿・高野

BONフカヤ

ネオコレクション

ココ山岡

ブランコ

ホットマン

エタム

三愛

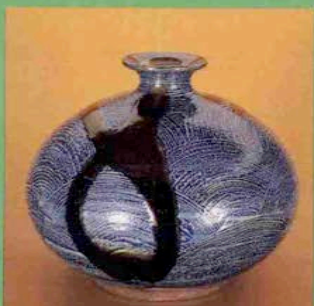
電話078(332)1698

自在に走る無作為の形象心あり。

《そこう》が選んだ

陶器の粹

題字 望月美佐



丸田正美作《黒幸田焼》塩釉呉須流し文壺

12月の画廊催しご案内

●美術画廊（6階）

●11月24日（金）～12月9日（金）

迎春用掛軸展示即売会

●12月10日（金）～16日（木）

迎春用掛軸特別奉仕会

●12月17日（木）～30日（木）

迎春用掛軸本年最終奉仕

●写真作品についてのお問い合わせは美術画廊（6階）内装もろまでご連絡ください。



神戸三ノ宮
そこう
神戸 078-221-4181

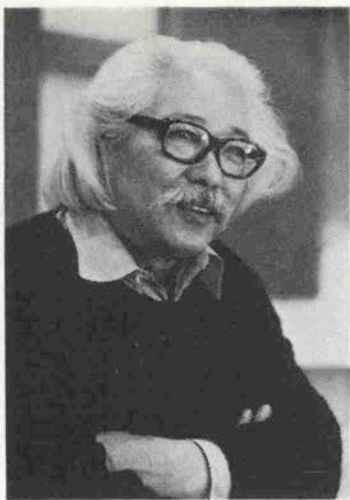
☆私の意見

芸術は

日常生活の延長線

津高 和一

△画家△



毎年自庭で開いている「対話のための作品展」も今年で20回目になりました。持続させていくことは意識していませんでしたが、いつも作品を描いているので、何とか展に出品するためにではなく描いているわけで、それが知らぬ間にたまり、その年の秋に庭に並べることをくり返してきたわけです。初めは何か意図があったのでしょうか……それは権威に対するアンチが動機になっているんでしょう。所属する団体で安穩とやっているのも居心地がいいでしょうけど、孤立無援の一匹オオカミの方が張り合いもあります。そんなことからこの自庭展が始まったわけです。美術館やギャラリーでの展覧会の場合、その仕事のカテゴリーにはまってしまう危険性があります。芸術のもつ創作行為が既成のものにとらわれないとか自分の創意工夫に制約がないという有難い面が自庭展の場合にあります。これもこの企画の始まった原因でしょう。しかし、この巡年を追う定期的な発表展示は今年で区切りとし、今後は恣意優先の気ままな制約のない自在なものとして存続させてゆきたく思っています。

昨年から始めました架空通信テント美術館展も、この自庭展の延長線上のひとつでしょう。作品はすべて現代美術で、平面作品と一部の立体作品をテント内で、立体を屋外に展示します。テントには、物理的な制約、例えば作品を展示できるように、パネルを設置するとか、骨組みが露わに見える建築構造であるとかの問題はありますが、利点もあるわけです。というのは、新発見ですが、光線がいいです。布を通した光が非常にソフトで明るいです。もっと大事な利点があります。それは、テントで展示会場を作ると、不安感があつたり軽い感じじたりしますが、それが逆に気軽さを感じさせます。生活空間、日常生活の延長線上の気易く入っていける会場になります。文化や芸術は、我々の交流している人間生活の中で構えないでスーッと入っていけるものだと思います。本来は。美術はもっと気安くあつていいと思いますね。(対話の中の作品展は10月24日・31日、第2回架空通信テント美術館展は11月3日・9日に開かれました。)(談)

刀剣 古美術

大徳寺松月(宙宝)筆
「松樹千歳緑」

松月和南筆 大徳寺松月(宙宝)筆
大仙桃林箱

大徳寺松月(宙宝)筆
「松樹千歳緑」
三七〇、〇〇〇円
大仙桃林箱

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市中央区元町通6丁目6-3

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081



Merry Christmas

今年もユーハイム・コンフェクトの
X'masデコレーションケーキを
かこんで、心に残るあたたかい
クリスマス・イブをお過ごし下さい



北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・店内店 神戸市中央区熊内町1の8 (市立美術館東隣) ☎221-1164
■さんちか店・神戸デパート・神戸大丸・そごう・阪急デパート・元町店・六甲道店
■須磨パティオ店